

## 2023年度 事業運営報告

### (1) 事業運営

#### 1. 定期演奏会 (第 272 回～第 280 回)

ザ・シンフォニーホールを会場として全 9 公演を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響はほぼなくなり、272 回定期演奏会のソリスト 小林愛実氏と第 276 回定期演奏会のソリスト ナディア・シロタ氏の本人都合での出演者変更以外は大きな変更はなかった。指揮者のうち、当団ポスト指揮者については前年度同様、飯森範親氏 3 公演、秋山和慶氏 2 公演、久石譲氏 2 公演の出演となった。客演指揮者は、豊中市出身で若手有望株の指揮者である出口大地氏及び多彩な才能でセンチュリーのポテンシャルを引き出してくれる鈴木優人氏がそれぞれ出演した。ソリストについては、前年度同様比較的若い世代の奏者を積極的に起用した。それぞれ、舞台上のみならず、SNS などを通じて積極的な活動を行う世代ということもあり、公演情報の発表時点でお客様からは大変な注目をいただいた。また、世界的に活躍する海外ソリストも起用し、センチュリーの演奏力の引き上げにもつなげることができた。そういった取り組みにより、昨年度同様に多くのお客様に演奏会に足を運んでいただき、4 公演(274 回、276 回、279 回、280 回)で完売・大入りとなり、楽団にとって非常に喜ばしき結果となった。このことを次に繋げられるよう、さらに新たな方策を考えていく。

#### 2. ハイドンマラソン (HM.31～HM.34)

ハイドンの交響曲を全曲演奏・録音する「ハイドンマラソン」も 9 シーズン目となり、残すところあと 8 公演となった。2023 年度は 9 曲の交響曲を演奏し、全 104 曲の交響曲のうち 95 曲を演奏・録音し、残り 4 公演 9 曲となった。

また、2023 年度は全 4 回の演奏会でソリストを迎え、交響曲と共にハイドンにゆかりのあるプログラムをお届けした。そのうち 2 回は楽員からソリストとして起用し、個人の演奏力の高さを披露することもできた。

この他、これまで対面開催だったハイドン大學を配信で開催することにより、より多くの人にハイドンマラソンの周知を行うことができた。

#### 3. センチュリー豊中名曲シリーズ (Vol.26～Vol.29)

2023 年度の演奏会では、引き続き豊中市立文化芸術センターとの共同制作による公演開催となった。2023 年度も劇作家の藤井颯太郎氏がストーリーテラーとして加わり、「変化」をテーマに物語とシンクロする名曲をお届けした。

1 回目(Vol.26) 「新世界の生活」

2 回目(Vol.27) 「変心」

3 回目(Vol.28) 「緩やかな片鱗」

4 回目(Vol.29) 「待ち望んだ突然変異」

ロビーイベントの拡充などを行い、昨年度以上にお客様、各評論家の方々から評価をいただき、それぞれの回を終えることができた。全ての回で多くのお客様にお越しいただいたが、その中でも4回目(Vol.29)については、完売・大入りとなった。

#### 4. 共催公演

昨年度同様、広域での観客層の拡大、楽団の認知度向上、さらなるスポンサーの獲得を目的として、三重県文化センター及び滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールの2会場で公演を開催した。特にびわ湖定期では、滋賀県出身のピアニスト久末航氏を起用したことにより、昨年度以上の来場があった。

#### 5. 海外公演

センチュリーとしては、11年ぶりの海外公演として、10月21日・22日に次期音楽監督である久石譲氏と共に第35回マカオ国際音楽祭に出演。

マカオ・オーケストラとの共演も含め、2公演を行い、いずれも定員をはるかに上回る約20倍ものチケット購入申し込みがあった。

#### 6. 社会貢献活動

小学生向け体験型コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」については新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残っていたため、2023年度も実施を断念した。本事業については、開催方式も含めて新たな形を模索していき、早期の再開を目指していきたい。

大阪府下の特別支援学校へ赴き演奏を行う「支援学校コンサート」を5公演、入院患者や来院者のための「病院コンサート」を3公演、それぞれ開催した。また、大阪府下の特別支援学校の児童・生徒を対象にした「特別支援学校コンサート」を1公演開催した。例年開催している「世界のしょうない音楽祭」についても実施を行った。2023年度も引き続き当団コミュニティプログラムディレクターの野村誠氏を中心に開催した。

#### 7. センチュリー・ユースオーケストラの運営

公益財団法人関西テレビ青少年育成事業団と連携し、中学1年生から29歳までの青少年を募り、ユースオーケストラを組織して指導・育成を行った。星空ファミリーコンサート、第16回定期演奏会において日頃の活動の成果を披露した。また、不定期ではあるが、関西テレビ本社等でのアンサンブル公演にも積極的に取り組んだ。

#### 8. 室内楽公演

2023年度は63の公演を実施した。大阪クラシック3公演(大阪市)、豊中まちなかクラ

シック(豊中市)10公演をはじめとして、豊中市市民ホール等指定管理者、守山市文化体育振興事業団、姫路市文化国際交流財団、寝屋川市、山形市、旭酒造株式会社、株式会社ガンバ大阪、吉本興業株式会社、大阪よどがわ市民生活協同組合等からの依頼をいただいた。

## 9. 依頼公演

2023年度は68の公演に出演した。株式会社ソニーミュージックソリューションズ、エイベックス・クラシック・インターナショナル株式会社、株式会社阪神コンテツリンク、株式会社ザ・シンフォニーホール、株式会社プロマックス等の企業その他、加西市、豊中市、公益財団法人琵琶湖芸術文化財団、公益財団法人姫路市文化国際交流財団、一般財団法人摂津市施設管理公社などの自治体及び各財団からご依頼をいただいた。また、旭酒造株式会社、武田薬品工業株式会社、朝日放送テレビ株式会社等の企業からもご依頼をいただいた。

## 10. 豊中市立文化芸術センター パートナーオーケストラ

2016年4月より豊中市立文化芸術センターの指定管理事業に携わってきたが、2021年度(2期目)よりパートナーオーケストラとしてホールでの大小さまざまな公演を継続し、ホール事業に携わっている。

## 11. 豊中市との連携

2012年に豊中市と提携した「音楽あふれるまちの推進に関する協定」に基づき、「豊中まちなかクラシック」として豊中市内各地で10公演を実施した。

2018年度より開始された豊中市内の中学1年生を対象とした音楽鑑賞会「ホールでオーケストラ」に加えて、2023年度も小学4年生を対象とした鑑賞会も4公演開催された。(中学校3公演、小学校4公演、計4公演)

上記に加え、成人の集いや憲法記念日の市長賞授賞式等、市の公式行事での演奏機会や、当団練習場で市主催の「0歳からのコンサート」の公演も実施した。

## 12. CDの制作

楽団のPR、演奏技術の向上を目的としオクタヴィア・レコードと協力し6枚のCD制作を行った。

ハイドン交響曲集 Vol.20 2023年5月24日発売

ハイドン交響曲集 Vol.21 2023年8月23日発売

ハイドン交響曲集 Vol.22 2023年11月22日発売

ハイドン交響曲集 Vol.23 2024年3月20日発売

チャイコフスキー 交響曲第4番（秋山和慶） 2023年10月25日発売  
カンチェリ（飯森範親） 2024年1月24日発売

### 13. オーケストラハウスの管理

これまで、大阪府から貸与を受けているセンチュリー・オーケストラハウスの一部を音楽サロンとして一般市民に開放してきたが、新型コロナウイルスの影響や事務所の移転に伴う施設管理及び警備の都合から引き続き一時停止としている。今後については、大阪府と協議しながら再移転も含めて運用方法を検討していく。

#### ■カテゴリー別事業損益（単位：千円）

## （2）楽団運営

### 1. 事務局体制

事業部、総務経理部の2部体制で運営。従前の企画制作グループと営業推進グループを演奏事業課と営業・マーケティング課の2課体制に変更し、より明確な業務分担を行うとともに、これまで以上に情報伝達指示系統、照査経路を明瞭化し業務の効率化を図った。また、各課に課長、主任を据えることで、各グループの指示系統を明確化させた。豊中市立文化芸術センター指定管理業務に携わる出向者1名については、一旦事務局管理職として籍を戻し、新たな事務局体制の構築に携わるとともに、同センターとの窓口担当として引き続き連携強化に努めた。

### 2. 広報宣伝概要

積極的なSNS活用はじめとして、楽団自ら演奏のみならず様々なアピールポイントを積極的に発信した。また、各メディアとの連携を深め大小様々な日本センチュリー交響楽団に関連する情報を提供した。

### 3. 法人営業強化

営業体制を強化し、既存会員のフォロー強化と新規スポンサーの開拓を実施。

法人サポーター会員 2022年度 66社 →2023年度 70社 4社増

■各種会員推移

年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
個人定期会員	シンフォニー定期	251	228	211	207	354	357	324
	ハイドンマラソン	60	65	52	56	57	54	62
	プレミアム	136	111	100	95	95	95	92
	プラチナ							2
法人定期会員		14	16	16	16	17	15	13

年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
スタンダードサポーター	個人	154	153	208	155	146	137	97
	法人	61	65	59	67	66	65	60
マンスリーサポーター	個人	18	16	22	22	20	20	20
目的別サポーター	個人	22	25	27	25	29	27	22
	法人	3	3	3	4	4	5	5

4. 人事情報

●楽員人事

木田 奏帆 (ヴィオラ)	2023年4月1日付採用
丹澤 加奈子 (コントラバス)	2023年4月1日付採用
巖崎 友美 (ヴァイオリン)	2023年8月1日付 2nd から 1st へ異動
下谷 智子 (ヴァイオリン)	2023年8月1日付 2nd から 1st へ異動
中谷 真美 (ヴァイオリン)	2023年8月1日付 1st から 2nd へ異動
中屋 響 (ヴァイオリン)	2023年8月1日付 1st から 2nd へ異動
篠原 悠那 (コンサートマスター)	2023年12月1日付客員コンサートマスター就任
鎌田 溪志 (ホルン)	2024年3月1日付採用
相蘇 哲 (ヴァイオリン)	2024年3月31日付再雇用契約満了

●事務局人事

河村 一政 (事務局長)	2023年4月1日付採用
酒井 大志 (パーソネル)	2023年4月1日付採用 (業務委託)
高本 久也 (ステージマネージャー)	2023年4月1日付採用 (業務委託)
坂根 慎哉 (総務経理部)	2023年5月30日付退職
望月 正樹 (音楽主幹)	2023年7月31日付退職
中村 沙耶 (事業部演奏事業課)	2023年11月30日付退職
西岡 千博 (事業部演奏事業課主任)	2024年2月29日付退職
辻本 真里佳 (ステージマネージャー)	2024年1月1日付産休

